

平成26年度 石見銀山基金事業

# 石見銀山学習概要報告集

校區別

【第一中学校 : 大田小学校・長久小学校・池田小学校・川合小学校・久屋小学校】

【第二中学校 : 五十猛小学校・静間小学校・鳥井小学校・久手小学校・朝波小学校】

【第三中学校 : 大森小学校・高山小学校】

【北三瓶中学校 : 北三瓶小学校】

【志学中学校 : 志学小学校】

【大田西中学校 : 温泉津小学校・仁摩小学校】

# 目 次

## ○ 中 学 校

		一	二	三	西	.	.	.	1
第									3
第									5
北	三								7
第									9
志									11
大	田								

## ○ 小 学 校

						.	.	.	13
大					田				15
長					久				17
五				十	猛				19
静					間				21
鳥					井				23
久					手				25
朝					波				27
4	4	班	連		合				
	(北三瓶、志学、池田)								
川					合				29
久					屋				31
大					森				33
高					山				35
温					津				37
仁				泉	摩				39

# 石見銀山を知ろう！！

**実施学年：** 3年生128名（教員8名）

**目的：**①石見銀山についてより深く知る。

②石見銀山について語るができるようにする。（石見銀山をPRする。）

③ふるさとへの誇りと愛着を育てる。

**流れ：**①ガイダンス

・目的・計画を聞く。（1h）

・石見銀山について石見銀山資料館所長 仲野義文さんのお話を聞く。（1h・2クラスずつ）

・現地学習グループ（コース）分けをする。

②事前学習（夏休みの課題）

・各グループが現地学習で回る箇所（人）について調べ学習をする。（「銀山新聞」作成）

③現地学習（9/18 木）

**午前**

・各コースで、クイズマップ（昨年度作成）を見ながらウォークラリーをする。

・1人が3問ずつクイズを作る。そのクイズの答え（解説も）を作成する。

**午後**

・学校へ帰ったのち、クイズマップを班ごとに仕上げる。（班ごとに5問精選+昨年度のクイズ）

④事後学習

・銀山学習の感想を書く。（9/18 午後）

・クイズマップを展示し、お互いのクイズマップを見る。

## 現地学習でのコース：

<銀山地区コース>

銀山公園→下川原吹屋跡→豊栄神社→（極楽寺）→清水寺→清水谷精錬所跡→大久保長安の墓→銀山公園

<大森街並みコース>

銀山公園→城上神社→勝源寺→熊谷家住宅→西性寺→観世音寺→旧河島家→栄泉寺→銀山公園

<毛利元就コース> ※ガイド2人

銀山公園→（西本寺）→豊栄神社→山吹城跡→銀山公園

<商家等住宅遺跡コース> ※熊谷家・旧河島家のみ公開

銀山公園→岡家→熊谷家住宅→青山家→旧河島家→柳原家→阿部家→三宅家→金森家→（高橋家）  
→銀山公園

<戦国時代前～江戸時代コース>

銀山公園→城上神社→勝源寺→井戸神社→観世音寺→妙蓮寺→栄泉寺→下河原吹屋跡→西本寺  
→大久保長安の墓→銀山公園

<龍源寺間歩コース>

銀山公園→龍源寺間歩→（銀山地区散策）→銀山公園

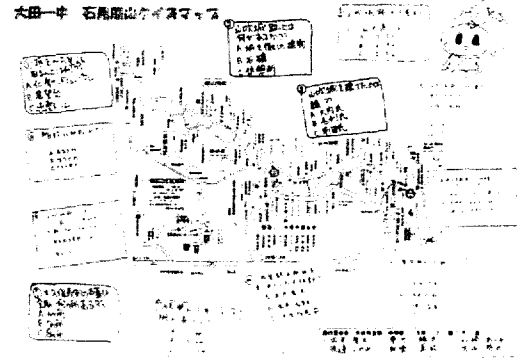
※コース作成では、ガイドの会や石見観光に助言をいただいた。

## 生徒の感想：

銀山学習を振り返って

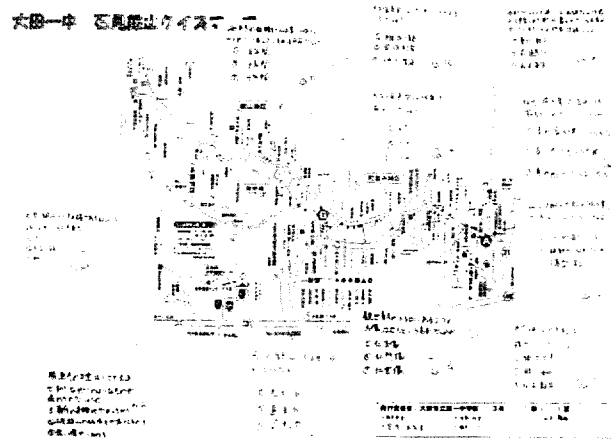
◆僕は生まれて初めて龍源寺間歩に入りました。坑道の中はとても寒かったです。◆地元にある石見銀山は身近なものではあるけど、実際に歩いてみると知らないものばかりだった。興味がわいてくるような学習が

できた。◆何回も石見銀山に行ったことはあるけれど、今回、クイズの答えを探すために、各場所のパネルをじっくり読むことができ、すごく勉強できた。事前に調べていた下河原吹屋跡ではその広さに驚いた。◆ガイドの方のお話を聞いて、大森はすごく栄えた町だったんだなと思いました。◆今までに何回か石見銀山に行ったことがありますが、もっと深く石見銀山について知ることができました。自分たちでクイズを考えるのがかなり大変でしたが、楽しくつくることができました！銀山の森の空気が、すごくおいしかったです！！◆私は3年ぶりに大森に行きました。毛利元就コースで山登りに挑戦しましたが、思っていた以上にきつかったです。でも頂上につくと眺めがとてもきれいで、島根のよいところがたくさんつまっていると感じました。また機会があれば家族と行きたいです。◆最初は、地図を見ても自分たちがどこにいるのか全くわからなくて、友達に聞いていたけど、歩いていくうちにわかるようになり楽しかったです。クイズがいろいろなところにあって、探したり、答えを見つけたりするのが楽しかったです。◆大森の町並みは、昔のままの風景が残されていて、住んでいる方たちの努力が感じられました。それは簡単なことではないということを小学校でも学びましたが、今、中学校で再び銀山学習をして、小学校の頃とは何か違うものを感じられたような気がします。それは言葉にはしにくいですが、地元への愛情だと思います。



銀山学習を終えたみなさんは、これからどのような生き方をしたいですか？大田市（ふるさと）に対する思い・人とのかかわり・将来の目標実現に向けてなどについて考えましょう。

■これからは、自分の故郷のことを知らないとは言わず、いろいろなことを知り、言えたらいいなと思いました。■最後、バスで帰るときに売店やガイドのみなさんが手をふって送ってくださり、温かい気持ちになりました。将来、大田市から出たいと思っていましたが、やっぱり大田市はいいなと思いました。■私は将来一度大田を出て都会に行き、いろいろ学んだ後にまたここに帰ってきたいです。将来的には石見銀山と関係のある仕事をするので、楽しみです。■銀山学習を終えて、生き方が変わったかと言えば・・・少し変わったと思います。人とのかかわり方など、学習したことを大事にしていきたいと思います。■これから都会に出たら、大田市民として、石見銀山について語れる人になる。あらためて大田市っていいところだな～と思った。■将来は何かがあっても大田に帰ってきたいと思いました。あいさつをしたら返してくれる方が多かったので、私もそんな大人になりたいです。■私は大田が好きなので、将来は大田かその近くで働きたいです。大田の良いところは、ご近所どうしで支え合えるところだと思います。将来私もその中に加わりたいです。■地域事業にすすんで参加しようと思った。



■川や森がとてもきれいだなと思いました。だからそのきれいな自然を守るように、ゴミ拾いなどのボランティアに参加しようと思いました。

**今年度の反省・来年度に向けて：**

今年度は、昨年度作成したクイズマップを使ってウォークラリーをした。生徒だけで（山吹城登山は除く）クイズの答えを探し回るのは大変だったと思うが、目的達成のために協力し合う姿や、素通りしてしまいがちな案内板とにらめっこをする姿が多く見られた。また、現地学習で、新しい発見をしたり、地元の方々の温かさにふれたりして、改めて故郷の良さに気づき、将来も大田で・・・と考える生徒もいた。目的①、③については、ある程度達成できたと思うが、目的②のために作成したクイズを見ると、一般の方に使っていただくためにはもう少し練る必要があるし、「中学3年生のレベル」に合うものは少ない。これらの点を改善するためには、事前学習でより専門的な内容を積み重ねていくことと、小学校と連携することが望ましいと考える。

1. 実施学年・人数 1年生 81名

2. 実施機関 9月～10月

### 3. 学習のねらい

- 石見銀山の歴史や価値などについて知識・理解を深め、ふるさとに誇りを持ち、ふるさとを愛する心を育てる。
- 地域の人々との交流を深めながら、世界遺産に登録されてからの変化について調べ、これからの石見銀山のあり方について考えようとする態度を育てる。
- なぜ石見銀山が世界遺産になったのか、石見銀山の魅力を再発見し、発信する態度を育てる。

### 4. 学習内容

- 石見銀山に関する全体像をつかむために、主な史跡を紹介するDVDを視聴する。
- 筑波大学の黒田先生の講義を聞き、世界遺産の意義や石見銀山のあり方について考え、今後の追究活動の参考にする。
- 「町並み」「自然」「歴史」「史跡」「観光客」のテーマの中から班で1つ選び、テーマに沿って図書資料を利用して追究活動を行う。
- テーマに沿った現地活動を行い、課題解決のための見学や調査を行う。
- 調べたことを下に、石見銀山の魅力やこれからの石見銀山のあり方について考え、その考えをまとめ発表する。

### 5. 生徒の感想

- 黒田先生の講義
  - ・石見銀山のほか、1006件もの世界遺産があることに驚きました。文化遺産や自然遺産、様々なものがあり、いろいろな人が協力して守っていることに感激しました。
  - ・イタリアはすごく面積は小さいのに、とても面積の大きい中国よりも世界遺産などの数が多かったので、イタリアにはたくさんの遺跡があるんだなあと思いました。
- 現地学習
  - ・大久保間歩では、江戸時代と明治時代の掘り方の違いがその時代を表しているようでおもしろかったです。
  - ・大久保間歩の中はとても暗くて、その中で昔の人たちは作業をしていたと思うとすごいとおもいました。
  - ・色があふれていない、昔ならではの魅力を感じる町並みは、心が安らぐ感じがしました。
  - ・様々なところから石見銀山の景色や自然を見て、本当に自然がいっぱいあるきれいなところだと思いました。
  - ・久手町では新しい家や黄色、青、白、マンションなど現代っぽいものが多いけれど、昔の家もカッコいいと思います。

・たくさん歩いて疲れたけど、前に行ったときよりも石見銀山のことをたくさん知ることができたのでよかったです。



### ○まとめ活動、発表会

- ・人々の努力によってありのままの自然が残っているから美しいのだと思います。これからは人々と自然とが共存していくことが大切だと思いました。
- ・石見銀山にもっと観光客が来て欲しいです。
- ・昔からの町並みを守り続けるために、町民の方の努力や心づかいがすばらしいと思いました。
- ・同じテーマでも、調べていることが違っていました。初めて知ったこともありました。
- ・間歩では昔から残っているこの遺跡のすごさを実際に感じたり、町並みは住民の心づかいを感じました。改めてふるさとに誇りを持ってたり、よい経験ができた気がします。
- ・世界遺産が身近にあることに感謝して、これからも守り続けたいです。



## 6. 学習の成果と課題

- ・学校図書館資料からの情報で石見銀山についての情報・知識を得ることができ、現地では見学・調査することによって、世界遺産としての価値や魅力に気づき、ふるさとへの愛着を持つことができた。
- ・テーマに沿って課題に迫ることにより、様々な角度から石見銀山をとらえ、考えることができた。
- ・視覚に訴えるものを掲げて発表することで石見銀山の魅力をわかりやすく伝え、これからも自然や町並みを保全していこうとする意欲を高めることができた。
- ・まとめ活動では、言葉だけが一人歩きし、より深く追究できていない部分もあった。自分たちはどうしていくべきか、もっと考えさせたい。
- ・地元の町並みと大森の町並みを比べている生徒がいたが、自分たちの地区と石見銀山との関わりを調べることもやってみたい。

平成 26 年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

○実施学年・人数 第1・2学年 12名

○実施日 4月17日(木)

○学習のねらい

【ふるさとを知ろう】

- ・世界遺産センターや石見銀山遺跡の見学をして、郷土の貴重な歴史遺産や文化について理解を深めるとともに、この地に生まれ育った一人として、地域に対しての誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。
- ・実際に現地を歩くことにより、世界遺産全体のおおよその規模を把握し、歴史に対する興味・関心を高めるとともに、これらの活動を協力しながらやり遂げる力を培う。

【道徳教育の観点から】

- ・地域社会の一員としての自覚をもって、郷土を愛し、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努める。4－(8)
- ・日本人としての自覚をもって国を愛し、国家の発展に努めるとともに、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する。4－(9)
- ・公德心および社会連帯の自覚を高め、よりよい社会の実現に努める。4－(2)
- ・互いに協力し合い、高め合い、協力をしながら好ましい友だち関係を築く。2－(3)

○実際の学習のようす

①事前学習

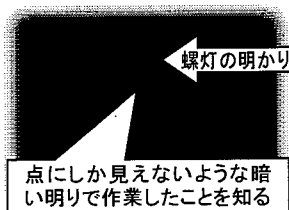
参加生徒12名のうち、1年生1名と2年生1名が4月に他県から転校してきた生徒(山村留学生)であり、また、2年生2名は1年時に他県より入学してきた山村留学生である。本校は2年周期の異なる内容で銀山学習を実施しているので、地元生や2年目の山村留学生にとっても今年度の銀山学習の内容は初めての体験になる。そこで、例年通り事前学習として社会科の授業でDVDなどを用い、石見銀山の歴史や文化的景観などについて、その概略を学習した。また、今年度はさらに1、2年生合同で図書館を活用し、ワークシートを利用した事前学習も実施した。

②当日の動き

8:50：学校発(バス)～9:30：世界遺産センター見学～10:30：世界遺産センター発(バス)～原田駐車場～徒歩～11:00 大久保間歩着：現地ガイドと合流－間歩見学～徒歩～石銀集落跡(説明後ガイドさん終了) 12:20～昼食～13:10 集落跡発～徒歩～13:30：佐毘売山神社着(語り合いの会)～13:45 神社発～徒歩～銀山公園 15:00:銀山公園発(バス)～15:40：学校着～活動の振り返り、感想記入

### ③事後学習

現地を訪れ、説明を聞いて分かったこと、感想などを紙面にまとめたり、社会科の歴史学習の中で補っていったりした。



#### ～現地を訪れて分かったこと、ガイドさんの説明を聞いて分かったこと、感想～

- ・大久保間歩の螺灯の光がとても小さくて暗かったので、あんな光の中で作業をしていたら足下も見えないし怖いなと思った。石見銀山は3回目では知っていることが多かったけど、今回は初めてだらけでいい思い出になった。いろいろな人に銀山のことを伝えていきたいと思う。
- ・大久保間歩でライトを全部消し、昔本当に作業していた時の同じ明るさにしたときに、暗くて明りの近くの一部分しか見えなかったもので、とても怖かった。実際のその場に行き自分の目で見てすごさがわかった。
- ・2回目だったけど今回は昔の人がどんな思いで掘っていたかなど考えることができた。螺灯の明かりだけの坑道も体験したし、掘る場所も暗くて狭いことに驚いた。鉱山病などもあったそうで30歳まで生きていたら長寿の祝いをしたことも知った。今回いろいろな発見をして自分の住んでいるところに銀山があることが素晴らしいと思った。世界遺産を大切にしたいと思う。
- ・仙の山から佐毘売山神社までは地図で見ただけではどんな道かわからなかったけど、実際に歩いてみて滑りやすく落ちそうだったので怖かった。今の自分たちは軽い荷物で丈夫な靴をはいて安全な服装で山を歩いたけど、昔の人たちはもっと重い荷物をもって山を登ったり、下ったりしていたと思うと、自分たちは少々なことでは甘えてはいけないと思った。今回の学習で一番勉強になったことは昔の人々の大変さだ。少し昔の人たちの気持ちに近づけた気がする。
- ・去年は長距離をひたすら歩いたが今年はガイドさんにいろいろ説明を聞いたので色々なことが分かった。
- ・明治以降と江戸時代では掘り方が違うことを知った。江戸時代はダイナマイトもなく、全て手作業だったのですごいと思った。去年の13キロより短かったけど山道でアップダウンがきつかったので、同じぐらい大変だったが、みんなと一緒にだったので楽しくできた。

#### ○学習の成果と課題

実際に細く険しい山道を軽い荷物ではあるが、自分のリュックを背負い、歩いたことで、それよりはるかに重い銀を担いで歩いた昔の人たちの苦労や偉大さを実感できた。

また、実際に坑道内で当時の明かりを体験したことで、さらに当時の人たちの苦労に思いをはせ、ここでも当時の人たちへの畏敬の念を抱くこととなった。

本校では、3年生が修学旅行中に、見学地を替え1,2年の2年計画で実施している。山村留学制度により、毎年のように転入生がくるため、学習の積み上げが活かされにくい面もあるが、内容を年により変えることで、新たな知識やふるさとへの愛着を深めることができたと思う。



平成26年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1 実施学年・人数 第1学年・11名

2 実施時期 9月～10月

3 学習のねらい

○「石見銀山」及び地域の「街道」や街道沿いの事物について学ぶことによって、地域の文化遺産や自然環境に愛着をもち、ふるさとへの誇りを持った生徒を育てる。

○「街道」や物流について学ぶことによって、国内外と「石見銀山」とのつながりを知り、「石見銀山」の価値を再認識し、広い視野を持った生徒を育てるとともにその価値を次代へ継承していこうとする意欲を高める。

○課題解決学習の形式で「石見銀山」の歴史や自然を学ぶことによって、歴史や自然への関心を高めるとともに課題解決力や表現力を高める。

○地域にある貴重な世界遺産の保全に対する意欲を高める。

4 学習内容

○事前学習

・小学校での既習事項の確認。

・地域の「街道」について知る。(講師：石見銀山課 青木俊介さん)

○「やなしお街道」を歩く。(ガイド：石見銀山ガイドの会 勝部理恵子さん)

○調べ学習

・事前の学習や体験を元にテーマを決める。

・図書資料を利用して、調べる。

○まとめ

・新聞記事の書き方を学ぶ。(講師：山陰中央新報社 水野宏昭さん)

・新聞を制作する。

・発表資料の作成。

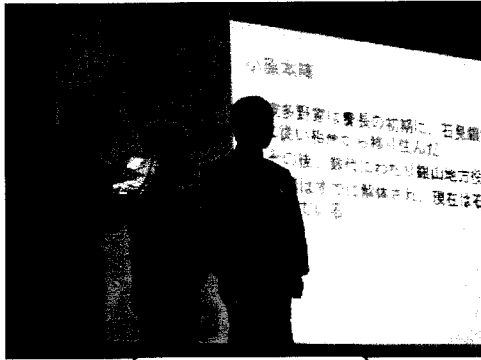
○発表

・文化祭での新聞展示

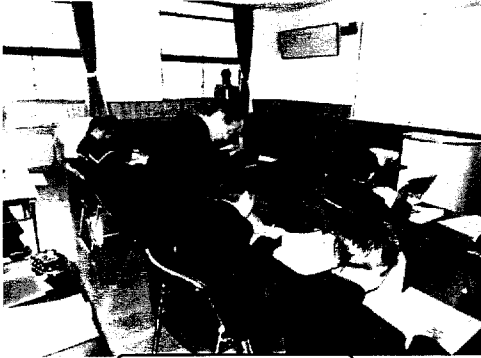
・文化祭でのステージ発表

5 実際の学習の様子

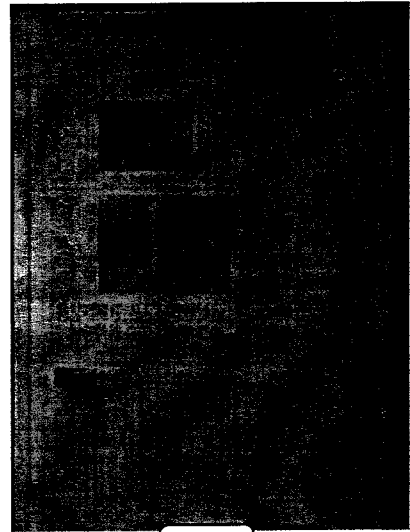




文化祭での発表



新聞制作の学習



新聞

#### 生徒の感想～銀山街道（やなしお道）を歩いて～

- とっても地面がぬかるんでいて危なかったです。こんな狭いところを人がたくさん歩いていてすごいなと思いました。狭い街道を牛や馬、人が銀を運んだことを聞いて、とてもつらかったんだろうと思いました。
- 銀は重いのに、急な道を歩いていて、昔の人はすごいなと思った。銀を運んでいた人の大変さがわかってよかった。石が多く歩きにくかったし、坂のところはきつかった。坂を土で埋めたりして歩いたことや歩きやすいように塩をまいて板でたたいたりしたのがわかりやすかった。丸い石のところは、昔は池などがあったことがわかった。
- 散策で危険な虫や動物のことも教えてもらいました。牛馬を連れて歩くのはとても大変だったと思います。途中で休みながらも大変だったと思います。身近だけど、あまり知らなかった石見銀山のことを詳しく知れてよかったです。
- 雨のせいで、最後まで歩けなかったけれども、いろいろなことがわかってよかったです。大きな「オニグルミ」や「山ナメクジ」が見つかったのでびっくりしたし、竹が生えないように版築工法を使っていることがわかりました。

#### 6 学習の成果と課題

- 小学校で学んだ銀の発掘や銀の精錬の学習を受けて、それをどのように運んだのか、街道や物流についての学習をした。事前に銀山課の方の話を聞いた上で街道を歩いたことで、関心を高めることができ、当時の人々の苦勞や思いを想像することができた。
- 「やなしお道」を実際に歩いた後で、生徒一人一人が学習課題を設定し、調べ学習を進め、その結果を新聞の形にまとめた。これによって、主体的に学習を進めることができたと同時に達成感も味わうことができた。
- 街道の保全に地域の人々が力を注がれていること、道は利用する人があってこそ、残されるという話を聞くことで、世界遺産を守ろうとしている人々の存在に気づくと同時に自分たちに守る使命があることを自覚することができた。
- 2学期から学習を始めたために、文化祭での発表までの時間が短く、生徒の負担が大きかったことが課題である。開始時期を見直したい。

## 平成26年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 全校生徒 14名

2. 実施時期 平成26年6月～平成27年2月

### 3. 学習のねらい

- ・石見銀山と大森の町並みについて学び、志学との関連について考える。
- ・学んだことを、今後の個人追究活動に生かす。
- ・石見銀山と周辺地域の保護・整備・継承を行う人々の思いを理解し、その意義に気づく。

### 4. 学習内容

- 事前学習 ねらいや見学地について知る。疑問点などを挙げて課題をみつける。
- 現地学習 世界遺産センター見学、大森周辺のフィールドワークを通して、石見銀山遺跡への理解を深めるとともに、課題について考える。
- 事後学習 学んだことを整理したり、学んだ視点でふるさと志学について気づいたことを挙げたりする。
- 個人追究活動 現地学習を受け、さらに調べたいことを決めて調べる。
- 文化祭掲示 現地学習で分かったことや学んだことを模造紙にまとめて発表する。
- 総合学習発表会 現地学習および個人追究活動で分かったことや学んだことを、小学生、保護者、地域に向けて発表する。

### 5. 実際の学習の様子

#### ○現地学習

(世界遺産センター)



(大森町内)



(城上神社)



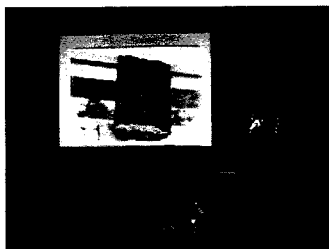
- 【感想】
- ・大森の町の文化的景観は、地域の方々みんなが昔から守っておられることが分かりました。そのために、家を昔のようにしたり、電線を地下に埋めたりしてすごいなと思いました。
  - ・神社が多い。いろいろなものが昔の状態に残っている。昔の人々の工夫や苦労がよく分かる。銀山があったから発展した場所をもっと見てみたい。
  - ・志学の人でも大森で何かをしていたことが分かり、志学と大森は何かつながりがあるのかもしれないと思い、調べたくなりました。

○総合学習発表会

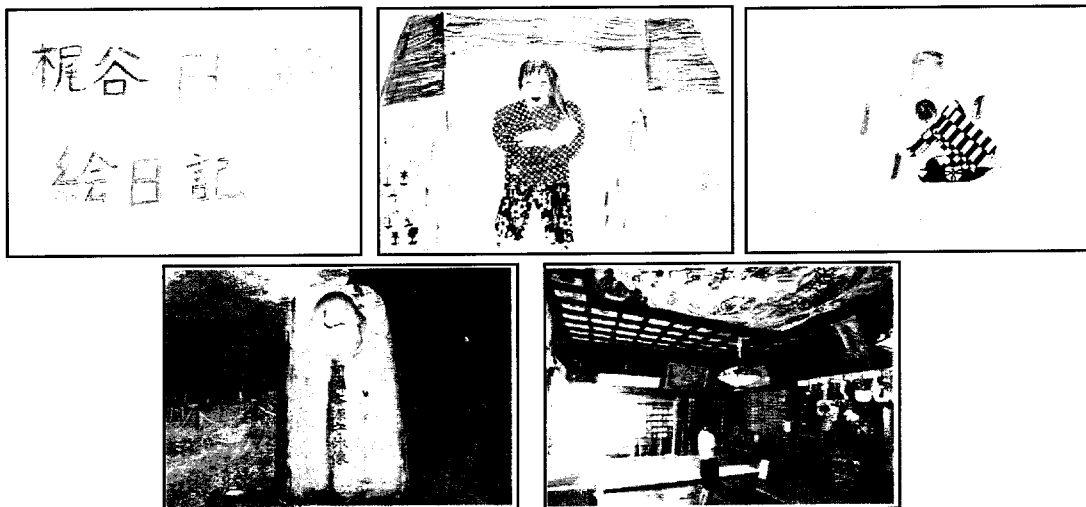
(模造紙を使って発表)



(当日の様子を写真で紹介)



(絵や写真を用いて紙芝居をつくり発表：写真は一部)



城上神社の『鳴き龍』をえがいた梶谷円隣齋が地元志学の出身であることに興味をもった生徒が、円隣齋にくわしい地元の有識者へのインタビューやゆかりのある場所へ出向いて調べ、紙芝居にまとめて発表した。

- 【感想】
- \* 石見銀山の鳴き龍を描いたのが志学の人だというのがビックリしました。志学の人  
が描いたと思うと誇りに思いました。そしてその絵をずっと残してほしいなと思  
いました。
  - \* とてもびっくりしました。志学の人  
が石見銀山と関係があったので、他にどんな  
ことをしていたのだろう？と興味を持ちました。
  - \* なぜたくさん  
の絵師がいる中で梶谷さんに描いてもらおう  
と思ったのかが疑問に思  
いました。

## 6. 学習の成果と課題

- ・大森の町並みの見学を通して、世界遺産の環境保全の意義や、それを支える地域の様子  
について学んだ。別の視点で志学地域を見つめ直したり、志学と石見銀山とのつながり  
について新しい発見ができたりした。一方、今年度から石見銀山学習を実施したが、昨  
年度まで、本校の総合的な学習の時間は志学地域をテーマに実施してきている。生徒が  
銀山学習で学んだことを生かして石見銀山に対する理解を深めるとともに、ふるさと志  
学について、さらに探究学習を進めることができるよう、現地学習のありかたを再考す  
ることが大切である。

## 平成26年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

○実施学年、人数 1年生、54名

○実施時期 10月～2月

○学習のねらい

- ・石見銀山についての調べ学習や体験学習を通して、石見銀山についての知識・理解を深めるとともに、情報収集力や表現力を養う。
- ・石見銀山についての学習を通して、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てる。

○学習内容

### ①石見銀山調べ学習

- ・学習期間：10月
- ・調査&まとめ（インターネット検索、図書室での書籍調査、聞き取り調査、現地調査（仁摩・温泉津町内））
- ・レポート作り（冊子の作成）

### ②発表（文化祭に於いて）

- ・期 日：10月26日
- ・内 容：パワーポイント、劇による発表

### ③石見銀山講演会（銀山学習のまとめとして）

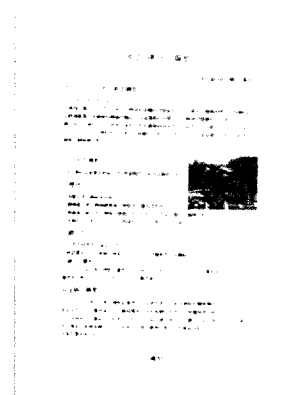
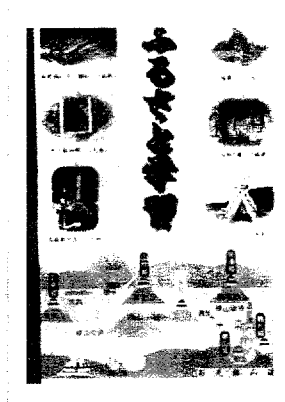
- ・期 日：2月4日
- ・講 師：群言堂 松場 登美 さん

○実際の学習の様子

### ①石見銀山調べ学習

総合的な学習の時間の一環として、グループごとに各地域に出かけて行き、調べ学習を行った。各自でテーマを設定してインターネットや関連書籍を調べ、資料を集めてレポートを作成した。調べる方法も各自で決めたので、同じテーマで調べた生徒でも内容は異なり、生徒各自の個性があらわれた内容豊かなレポートになった。

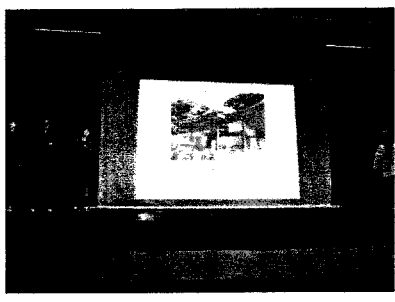
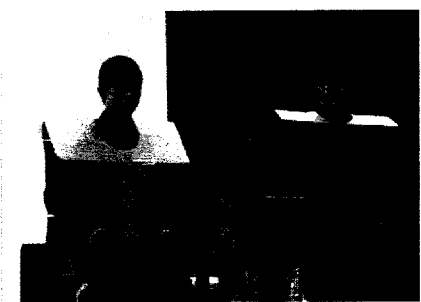
この学習を通して、情報収集力や表現力の向上を図ることができ、総合的な学習の時間での目的も果たすことができた。





## ②発表（文化祭に於いて）

石見銀山について調べた内容を、パワーポイントと寸劇を織り交ぜ、発表した。役割分担をし、文化祭での発表に対して、全員が前向きに取り組んだ。



## ○学習の成果と課題

- ・実際に現地に行ったり、地域の方の話を聞いたりすることで、石見銀山の歴史や価値についての理解を深めるとともにその偉大さを再確認することができた。
- ・調べ学習やレポート作りを通して、情報収集力や表現力を養うことができた。また、石見銀山についての幅広い情報を得ることができた。
- ・石見銀山についての学習を通して、ふるさとを愛し、ふるさとを大切にしようとする態度を育てることができた。

大田小学校

平成 26 年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

## 「すごいぞ！石見銀山」

1. 実施学年・人数 6年生 95名

2. 実施時期 10月～1月

3. 学習のねらい

○石見銀山遺跡について、事前学習や現地での学習を通して知識・理解を深めるとともに、地域の一員としてこの遺跡に誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。

○自ら課題を見つけ、主体的に解決する能力を育てる。

4. 学習内容

(1) 事前学習

○石見銀山遺跡について、自分で追求したい課題を見つける。

○石見銀山遺跡について、本、図書資料、インターネット、インタビュー、視覚教材等で調べる。

○世界遺産センターの方のお話を聞く。

(2) 現地での学習

○大久保間歩、釜谷間歩の見学。(観る、ガイドの方の話を聞く、質問をする。)

○大森の町並みの見学。

○世界遺産センターの見学。(観る、世界遺産センターの方の話を聞く。)

(3) 事後学習

○調べたことをまとめ、伝え合う。

5. 実際の学習の様子

(1) 事前学習

石見銀山遺跡について、今まで見聞きして知っていることを交流し合い、知りたいこと、より詳しく調べたいこと等、個々に追究したいテーマを決めた。図書資料やインターネット等を活用しながら、自分が決めた課題について興味をもって調べた。児童が決めた課題は以下の通りである。

☆銀の採り方、道具、方法、銀の行方、人々の暮らし、大森の町並みのそれぞれの場所の歴史。

また、世界遺産センターの方をゲストティーチャーとして招き、世界遺産とはどんなものか、またその意義や、石見銀山が世界遺産登録された経緯等について話をうかがった。

## (2) 現地での学習

大久保間歩、釜谷間歩見学では、ガイドの方からお話を聞きながら、現地を歩くことで、当時の生活の様子や作業の様子を想像することができた。

世界遺産センターの見学では、センターの方のお話や展示物から、図書資料やインターネット等では分からなかったことがたくさん分かり、児童の石見銀山遺跡への理解が深まった。



大森の町の主な神社や屋敷など数箇所を、児童が事前にグループごとに調べ、町並み見学の時に子ども達同士で紹介しながら歩いた。事前に調べて見学したため、建物や場所の歴史等を思い浮かべながら見学できた。



## (3) 事後学習

事前学習や現地学習で学んだことを、「石見銀山新聞」や「石見銀山ブック」としてまとめ、発表しあった。参観日にも展示し、保護者の方にも見て頂いた。

## 6. 学習の成果と課題

### ○成果

- ・世界遺産・石見銀山への関心が増し、理解を深めた。
- ・銀の精錬方法の技術の高さ、世界への石見銀の流通、大内氏や尼子氏、毛利氏らによる石見銀山支配を巡る歴史などへの知識と興味が増した。
- ・石見銀山に携わった人々の知恵や労苦を想像し、当時の人々の思いに寄り添うことができた。
- ・ふるさとの素晴らしさを再発見し、我が町「大田市」「大森」へ誇りを持つことができた。
- ・情報を収集し、整理し、まとめる学習活動のスキルアップが図れた。
- ・世界遺産としての石見銀山の価値を認識することができ、石見銀山への理解とふるさと大田への愛着が増した。

### ●課題

本校は児童数が多いため、現地学習の際に次のような課題が生じた。

- ①バスの確保（3台）と見学順の調整
- ②ガイドの確保（今回は6名）
- ③石見銀山基金からの補助（30万円）では予算が足らず、個人集金が生じた。

また、石見銀山に関する資料の充実を図る必要があり、パンフレット、書籍などの数量を増す必要がある。



# 平成26年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

大田市立  
長久小学校

○実施学年、人数 第6学年 人数25人

○実施時期 平成26年10月22日・10月30日

○学習のねらい

- ・石見銀山について学習することを通して、ふるさとへの愛着と誇りをもつ。
- ・見学調査活動を通して、石見銀山遺跡の歴史的価値を調べ、自分なりの表現でまとめる。

○学習内容

## 学習テーマ 知ろう! 探ろう! 石見銀山

- ① 3人の武将（信長・秀吉・家康）と石見銀山との関わりを学ぶ。
- ② 視聴覚教材や図書、パンフレット、インターネットを通して石見銀山の概要を知る。
- ③ 大久保間歩・釜屋間歩を見学する。
- ④ 世界遺産センターで館内見学と選鉱体験をする。
- ⑤ 現地学習の報告書を作り、事前に作ってきた資料と共にパンフレットとしてまとめる。

○実際の学習の様子

【事前学習】

- ① 3人の武将と石見銀山との関わりを学ぶ。
- ② 視聴覚教材や図書、パンフレット、インターネットを通して石見銀山の概要を知る。

・社会科の時間に3人の武将と銀山の関わりを学んだ後、NHKで放送された「そのとき歴史は動いた～銀を制するものは天下を制する～」を視聴した。その後、インターネットの石見銀山ミュージアムのページや世界遺産センターから出ているパンフレットを活用して石見銀山の概要を小項目に分けて知り、まとめていった。

③④【現地学習】（天候の都合により、10月30日に実施）



☆大久保間歩・釜屋間歩を見学する

・銀を採掘するために、いろいろな体勢で仕事をしていたこと、間歩で働く人の平均寿命が30歳くらいであったこと、地下何階もあったことなどを学んだ。暗く、足下も頭の上も心許ない感触を抱きながら、採掘に携わった人々の労苦を児童なりに感じ取ることができた。また、釜屋間歩の岩盤遺跡は当時の人々の生活が分かるものであり、遺産センターでの模型とつなぎ合わせて理解することができた。

☆世界遺産センターで館内見学と選鉱体験をする。(10月22日)

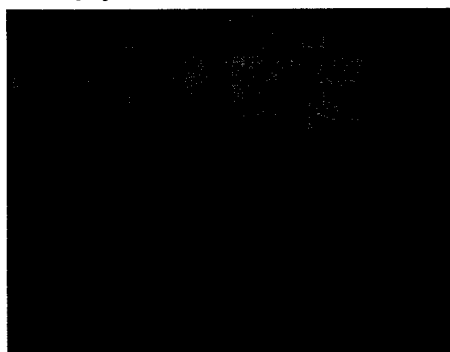


・館内見学では、自分たちが今まで学習してきたことを頭に置きながら説明を聞き、見学することができた。展示物で銀山全体の広さや、歴史的価値を再度確認することができた。

選鉱体験では、水と銀の混ざった土が入ったたらいの中に選鉱用の容器を入れて、用心深く銀を選ぶ姿、おおざっぱに流す姿などさまざまであったが、小さな銀を発見しては歓声をあげていた。土の中から銀を取り出す作業の大変さを実感することができた。

【事後学習】

⑤現地学習の報告書を作り、事前に作ってきた資料と共にパンフレットとしてまとめる。



・現地学習後、世界遺産センターから出されているDVDを視聴し、自分がこれまで学習してきたこと、現地見学で学んだことを再度整理して報告書作りに取りかかった。

・間歩の中や遺産センターの模型等、何枚か写真を用意しておき、写真を切り貼りしながら現地見学の報告書を作った。見学で分かったことだけでなく、事前学習の内容をきちんと盛り込んで報告書を作ることができた。

(児童が作ったパンフレット)

・事後学習で作った報告書と事前学習で作っていた銀山の概要を個々がまとめたプリントを一冊のパンフレットにし、銀山学習を終えた。

○学習の成果と課題

○成果

- ①石見銀山のすばらしさを知り、大田市への愛着と誇りを持つことができた。
- ②調査活動や体験活動を通して、歴史学習に興味を持ち、学力の向上を図ることができた。

○課題

・児童が興味、関心を持って学習に取り組み、石見銀山の歴史的価値に思いをはせ、ふるさと大田をさらに大切にしようとするような学習過程を考えていきたい。

## 平成 26 年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

○実施学年・人数 第 6 学年 10 名

○実施時期 平成 26 年 10 月～11 月

### ○学習のねらい

- ・遺跡や資料館の見学をしたり、石見銀山遺跡の資料を用いる学習をしたりして石見銀山遺跡の歴史やその価値を理解し、ふるさとへの愛着と誇りをもつ。
- ・自分の課題について、調べたり体験を通して学んだりしたことをまとめ、地域へ発信することを通し、情報活用能力を育む。

### ○学習内容

過程	主な学習活動
事前	○「発見・発信 石見銀山の魅力」(全) ・パンフレットや DVD をもとに石見銀山の歴史や石見銀山の価値について知る。 ・石見銀山学習の課題を見つける。
現地学習	10 月 15 日 「石見銀山世界遺産センターで調べよう」 ・石見銀山世界遺産センターを見学したり、話を聞いたりして課題を解決する。 ・灰吹き法を見学し、当時の銀の製錬方法について理解する。 「仙ノ山を縦断してみよう」 ・大久保間歩見学、石銀地区めぐり、銀山柵内の場所の確認などより広い視野で石見銀山遺跡を理解する。
事後	・調べたり見学したりして分かったことをグループごとにまとめ、学習発表会で発表する。 ・個人の課題は、それぞれが発表できるようにまとめる。

### ○実際の学習の様子

#### 【灰吹き実験見学】

難しい灰吹き法の理論も実験を見ることによって、理解を深めることができた。

#### 【世界遺産センター】



世界遺産センターでは、模型を使って石見銀山の全体像を捉え、石見銀山の場所や大きさなど地理的なことが理解できた。展示物を見たり説明を聞いたりした。自分の課題についての質問や目的をもった見学ができた。

#### 【仙ノ山縦断】



仙ノ山を望んで



釜屋間歩にて



石銀地区への上り坂



大久保間歩見学



山吹城跡の説明



学習発表会の様子

大久保間歩、釜屋間歩、石銀地区などを見学した。仙ノ山に登ったことで、事後のまとめの学習では、より興味をもって課題を追求する姿が見られた。

#### ○児童の感想（学習発表会にて）

- ・これまで自分の住んでいる町に世界遺産があるといわれてもあまりピンときませんでした。しかし、石見銀山学習をして、石見銀が世界の経済や文化の交流に大きな影響を与えたことなどがわかり、自分の住む町に世界遺産があることをほこりに思うようになりました。
- ・石見銀山学習を通して、世界遺産は世界共通の大切な遺産だということを知りました。この先、ずっと残るように大事に守っていきたいと思います。私たちのほこりである石見銀山をみんなで守り、未来へつなげていきたいと思いました。
- ・始めは世界遺産とは何か、石見銀山が世界遺産とは何か、石見銀山が世界遺産に登録された理由は分かりませんでした。この学習を通して、世界遺産は未来へと手渡されていく地球の宝、人類の宝物だということが分かりました。そういう大切な宝が私の住んでいる大田にあることは、とてもほこらしいと思いました。

#### ○学習の成果と課題（成果◎ 課題▲）

- ◎石見銀山世界遺産センターや現地での見学により、石見銀山の歴史・価値についての理解を興味をもって深めていくことができた。
- ◎世界遺産の石見銀山遺跡を知ることを通し、郷土への誇りと愛着をもつことができるようになってきた。
- ◎調べたことを発表する活動を通して、まとめる力や表現する力を高めることができた。
- ▲指導者の石見銀山遺跡に関する知識や、石見銀山学習の実践力を高めたりするための研修が必要であると感じた。

大田市立静間小学校

## 平成26年度石見銀山基金事業石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第6学年 6名

2. 実施時期 平成26年11月

### 3. 学習のねらい

- ・郷土の貴重な文化・歴史遺産である石見銀山遺跡について学習し、遺跡についての理解を深めるとともに、地域の一員としてこの遺跡に誇りをもち、大切にしていこうとする心情を育てる。
- ・石見銀山遺跡についての資料を用いて調べる学習をしたり、石見銀山世界遺産センターの展示物や現地の見学をしたりして、石見銀山遺跡の歴史や価値を理解できるようにする。
- ・石見銀山世界遺産センターにおいて選鉱、砂銀採りをしたり、大久保間歩の見学をしたりすることを通して、銀山開発に携わった当時の人々の工夫や苦勞を感じることができるようになる。

### 4. 学習内容

#### ①事前学習

石見銀山について知っていること、疑問を書き出し学級全体の学習課題を確認した。  
学習課題を解決するために、パンフレットや書籍を使って調べ学習を行った。

#### ②現地学習（11月20日）

「石見銀山世界遺産センターで調べよう」

石見銀山世界遺産センターの見学をしたり、説明を受けたりして理解を深め、課題を解決した。

「体験学習をしよう」

灰吹き法を見学し、当時の銀の精錬方法について理解した。

選鉱体験を行い、石見銀山の鉱山技術を体験した。

「大久保間歩を見学しよう」

大久保間歩を見学し、説明を受けることにより、江戸時代と明治期の採掘方法のちがいや採掘方法の変化、当時の銀の採掘の大変さなどを学習した。

#### ③事後学習

調べたり見学したりして分かったことを個人でまとめ、2～5年生に発表をした。

### 5. 実際の学習の様子

#### 【世界遺産センター】

世界遺産センターでは、模型を使って石見銀山の全体像を捉え、石見銀山の場所や広さ、世界遺産に登録されている場所など地理的なことを理解することができた。また、大航海時代に世界から注目され、石見銀山から産出された銀の果たした役割、戦国大名が銀山を巡って続けてきた争いなどの説明を聞き、歴史的なすばらしさを知ることがで

きた。展示物を見たり、説明を聞いたりすることにより理解を深め、質問をすることにより、課題の解決につながった。



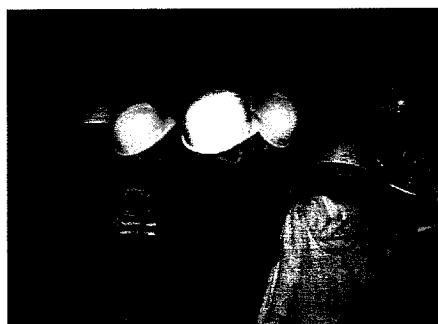
#### 【体験学習】

灰吹き法の見学では、固体であったものが高温のバーナーの火を当てることにより、色、形状が変化することを目の前で見る事ができ、先人の知恵を知ることができた。選鉱体験では、なかなか銀を手にする事ができず、大変な作業であったということを感じ取っていた。



#### 【大久保間歩見学】

大久保間歩の見学を通して、遺跡のすばらしさを感じ、石見銀山遺跡の歴史や価値について理解することができた。また、銀山開発に携わった当時の人々の苦勞や工夫を感じることができた。



### 6. 学習の成果と課題 (◎ 成果 △ 課題)

◎石見銀山世界遺産センターや大久保間歩とその周辺の見学と解説により、石見銀山の歴史・価値について興味を持って学習に取り組み、理解を深めることができた。

◎石見銀山遺跡についての学習を通して、そのすばらしさを改めて感じ、郷土への誇りと愛着を持つことができた。

△指導者の石見銀山に関する知識と、学習を構成する上での教材開発、資料づくりを充実させていく必要がある。

## 平成26年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### 1. 実施学年, 人数

第6学年 8名 (指導者 1名)

### 2. 実施時期

平成25年 10月～11月

### 3. 学習のねらい

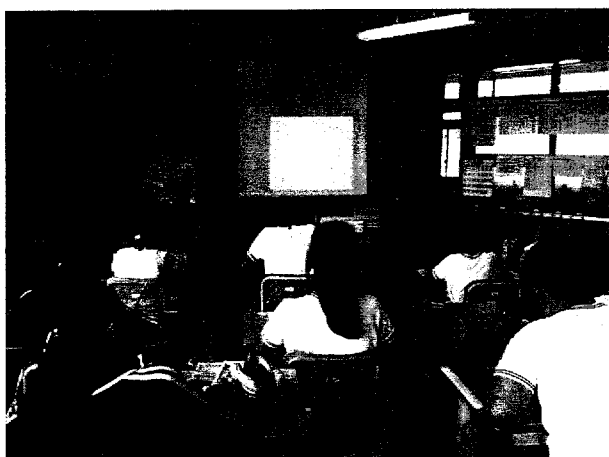
- ・石見銀山について学習することを通して、ふるさと大田への愛着と誇りをもつ。
- ・自分の課題について、調べたり、体験したりしたことをまとめ、発表する。

### 4. 学習内容

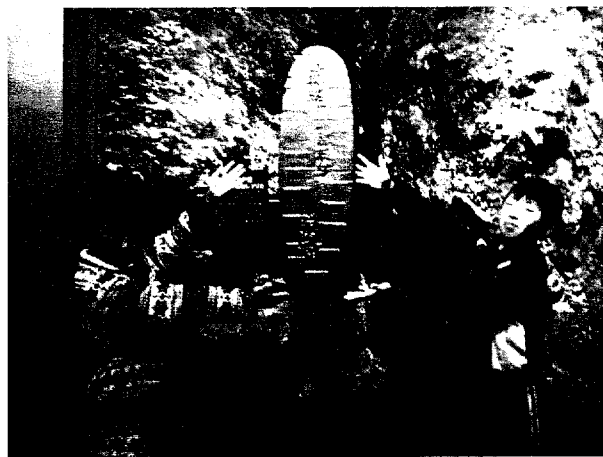
過程	主な学習活動
事前	・パンフレットやDVDなどの資料から、石見銀山遺跡について調べる。 ・現地学習での課題を見つける。
現地学習	・石見銀山世界遺産センターで説明を聞いたり、見学したりして、課題を解決する。 ・「選鉱、砂銀採り」の体験活動、灰吹法実演見学、大久保間歩見学（間歩体験）を通して理解を深める。
事後	・調べたり見学したりしてわかったことをまとめる。 ・まとめたことを発表する。

### 5. 実際の学習の様子

事前学習 (講師：仲野先生)



世界遺産センター見学



比重選鉱（ゆり盆体験）



大久保間歩・釜屋間部見学



## 6. 学習の成果と課題

- ・石見銀山についての興味関心を高めるとともに、石見銀山の歴史や価値について理解を深めることができた。
- ・体験活動や遺跡見学を通して、さらに理解を深めることができた。
- ・世界遺産の一つである石見銀山遺跡がある郷土、大田市への誇りと愛着の心情を培うことができた。
- ・石見銀山学習を通して、総合的な学習の時間における探究的な学習（「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」）を展開していくことができた。
- ・課題の設定を子ども達が決めるというところが、一番難しく導入を教師がどのように行うのかということが重要だった。



## 平成 26 年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第6学年・39名

2. 実施時期 9月～11月

### 3. 学習のねらい

- 石見銀山についての新たな知識を習得することで、世界遺産に対する意識を高め、郷土への誇りと愛着をもつ。
- 見学や体験活動を通して石見銀山に対する興味関心を深める。
- 石見銀山学習の成果を発表することで、今後の保護・保存・活用への意欲を高める。

### 4. 学習内容

- 郷土の貴重な文化、石見銀山遺産について学習し、十分な知識、理解を図るとともに、その背景となった歴史や地域、文化、技術についても学習する。
- 社会科の歴史学習を発展させて、戦国大名の石見銀山争奪戦について学習する。さらに、DVDを活用し、石見銀山の概要を学び興味関心を深める。
- 各自石見銀山についての課題を設定し、図書資料、パソコンなどを利用し追求活動を行う。さらに、現地見学と体験活動を通し、課題意識をもって見学することでその価値に気づき、誇りと愛着の気持ちを育てる。そして、その成果をまとめ発表することで、知識と理解を確かなものにしていく。

### 5. 実際の学習の様子

- 戦国大名の銀山争奪戦学習（9月）
- DVD視聴による石見銀山概要学習（9月）
  - 【知ろう！探ろう！石見銀山】【世界遺産「子どもデジタルアーカイブづくり」石見銀山】
- ホームページと図書館資料による課題学習（10月）
- 現地学習（10月24日）
  - 【世界遺産センター展示室見学】…児童の感想  
はじめ、石見銀山は「山」だけだと思っていたけど、銀がたくさんとれた山で間歩の周りや仁摩や温泉津も世界遺産だということが分かりました。  
戦国武将や銀鉱石の掘り方と灰吹法について、展示物を見て分かったのがよかったです。
  - 【丁銀作り体験活動】…児童の感想  
丁銀を作ってみて、石見銀山について興味を持つことができました。  
けっこう難しかったです。銀鉱石を掘っていた人たちや灰吹法で銀をとりだしていた人たちの苦勞が分かりました。
  - 【龍源治間歩などの見学】…児童の感想  
間歩の中は暗くて水が落ちて冷たくて、掘るのがたいへんだったことが分かりました。

石見銀山は、自然を残しながら銀を採掘していたということが分かってよかったです。  
石見銀山には昔、本当に人が住んでいたということが分かりました。どんなふうに暮らして、どんな役割があったのかも分かりました。

自分たちの町の世界遺産を、みんなで守っていることが分かってよかったです。



#### ○石見銀山新聞の作成（11月）…児童の感想

見学したり、自分たちで調べたりして楽しかったです。

間歩の中に入ったり、世界遺産センターを見学したりしてよく分かりました。

もっといろいろな世界遺産を知りたいと思いました。

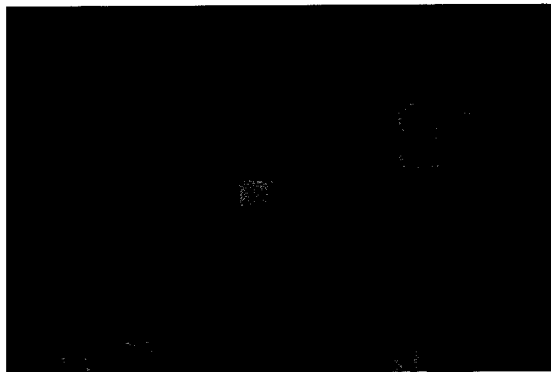
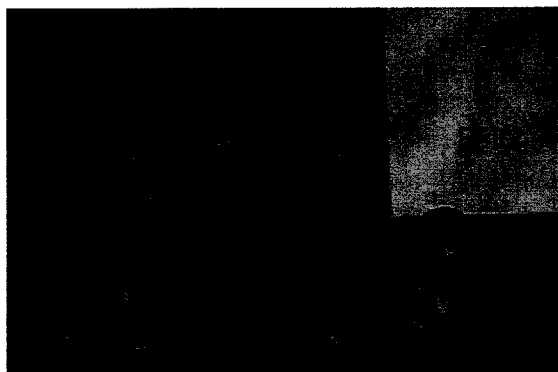
#### ○校内学習発表会での学習成果発表（11月23日）…児童の感想

石見銀山は大田市の宝物だから、これからも大切にしていこうと思いました。

偶然が重なってできた自然や歴史をこれからも守っていきたいと思いました。

学習発表会では、見ている人に分かりやすいように発表できてよかったです。

いろいろ勉強になったので、学んだことをこれからも生かしていきたいです。



## 6. 学習の成果と課題

○石見銀山学習を通して、銀山には昔、本当に人が住んでいて工夫して銀鉱石を採掘し銀を製錬していたことを実感し、大田市の宝物をこれからも大切にしようとする思いを持つことで、世界遺産に対する意識を高め、郷土への誇りと愛着を持つことができた。

○龍源寺間歩などの見学や丁銀体験活動を通して、石見銀山に対する興味関心を深め、世界遺産の範囲や銀鉱石の採掘方法、灰吹法による銀の製錬など、新たな知識を習得することができた。

○新聞や学習発表会で、石見銀山学習の成果を発表することで、世界遺産をいろいろな人に分かりやすく伝え、今後も保全し活用していこうという意欲を高めることができた。

○児童にとってより身近な学習とするために、銀山と校区久手町との関わりをとりあげたかったが、資料を十分に集めることができず、教師が児童に伝えるだけになってしまった。

平成26年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

○実施学年・人数

第6学年 25名(指導者1名)

○実施時期

平成26年 10月～11月

○学習のねらい

- ・石見銀山について学習することを通して、ふるさとへの愛着と誇りをもつ。
- ・自分で設定した課題について、体験活動や調べ学習を通して学んだことをまとめ、伝え合う。

○学習内容

過 程	主な学習活動
事前学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習のテーマを決めよう</li> <li>・図書やインターネット、パンフレット、DVD等から石見銀山遺跡の歴史や価値について知る。</li> <li>第1時 ○石見銀山について大田市民の意識調査をしよう</li> <li>第2時 ○アンケートから分かったことの分析</li> <li>第3時 ○テーマ別に調べ学習をしよう 1</li> <li>第4時 ○テーマ別に調べ学習をしよう 2</li> <li>第5時 ○テーマ別に調べ学習をしよう 3</li> <li>第6時 ○現地学習の仕方について知ろう</li> </ul>
現地学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○世界遺産センターで調べよう</li> <li>・ガイドの方の話を聞く。</li> <li>・センター内を見学し調べる。</li> <li>・調べても分からなかったことを質問する。</li> <li>・灰吹き法を見学する。</li> <li>・丁銀作りを体験する。</li> <li>○大久保間歩・釜屋間歩を見学しよう</li> <li>・ガイドの方に説明していただきながら間歩を見学する。</li> <li>・ガイドの方に質問する。</li> </ul>
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>○石見銀山について分かったことをまとめよう。</li> <li>・調べたことを壁新聞にまとめる。</li> <li>○まとめたことを発表しよう。(課外)</li> <li>・完成した壁新聞を学習発表会で展示する。</li> </ul>

○実際の学習の様子

～世界遺産センター展示見学～



～世界遺産センター灰吹き法見学～



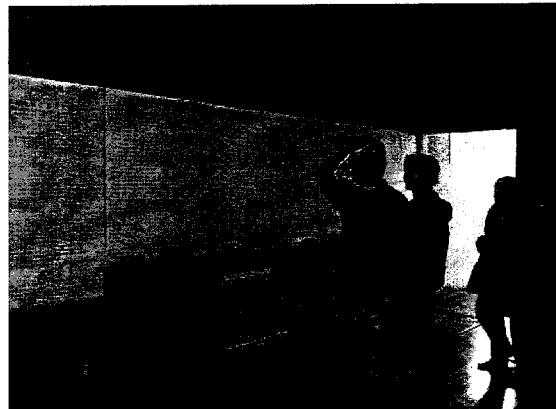
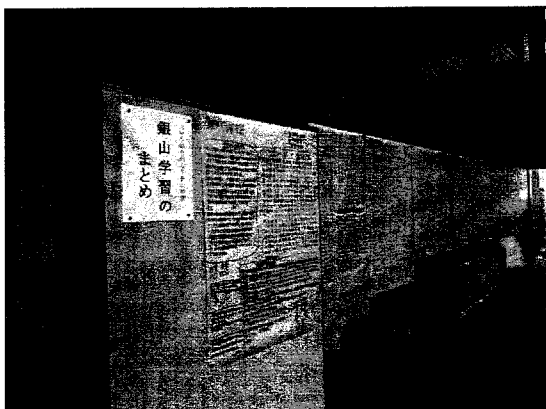
～世界遺産センター丁銀作り体験～



～大久保間歩・釜屋間歩見学～



～まとめ～



## ○学習の成果と課題

### 〔成果〕

- ・現地学習を取り入れ石見銀山を肌で感じたことで、石見銀山に対する興味・関心が高まった。
- ・石見銀山の歴史的価値を学んだことで、戦国時代から江戸時代にかけての歴史をより身近なものとして学ぶことができた。
- ・ふるさとの誇りのひとつとして、石見銀山を認識できるようになった。

### 〔課題〕

- ・銀山争奪戦や灰吹き法の説明を丁寧にしていただいたが、歴史的な観点からも科学的な観点からも世界遺産センターの解説は難しかった。小学生向けの副読本などがあるといいと感じた。

大田市4班連合小学校  
(池田 志学 北三瓶)

## 平成26年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1 実施学年・人数 4班連合5・6年生・30名

2 実施時期 平成26年7月8日(火) 現地見学

### 3 学習のねらい

- 温泉津の町並み・沖泊，福光石採石場等の見学を通して，「石見銀山遺跡とその文化的景観」の価値を深く知る。
- 3校児童がともに活動や学習をすることを通して，集団活動や協力の大切さを学び，親睦を深める。

### 4 学習内容

- ・松山の道標，沖泊，やきものの里，温泉津の町並み見学。
- ・福光石採石場見学。
- ・中国地方にある世界遺産の学習。

### 5 実際の学習の様子

(1)【6年】4班連合修学旅行(合同)～世界遺産の原爆ドーム・厳島神社を訪ねよう～  
・修学旅行で尋ねた世界遺産(原爆ドーム・厳島神社)の価値についてまとめたり，発表したりした。

(2)【5年】修学旅行報告会(各校)

- ・6年生の発表により，広島にある2つの世界遺産について知るとともに，ふるさと大田市にある世界遺産，石見銀山への関心を高めた。

(3)【5・6年共通】石見銀山のすばらしさについて学習しよう(各校・合同)

- ・パンフレットやDVD等から石見銀山の歴史や石見銀山遺跡の価値，温泉津や福光石について各校や各自の課題を見つけた。

＜松山の道標，沖泊，やきものの里，温泉津の町並みの見学＞

- ・5年生と6年生をそれぞれ2班の計4班に分け，ガイドの会の方に案内していただいた。
- ・それぞれの場所で，事前学習で疑問に思っていたことを積極的に質問する児童の姿を見ることができた。

＜福光石採石場見学＞

- ・石をどうやって採掘しているのか，昔と今の採掘方法の違いなどを教えていただいた。
- ・採石現場の迫力に子供たちは驚いた様子だった。

(4) 【5・6年共通】石見銀山のすばらしさについてまとめよう（各校・合同）

- ・現地見学で得た情報をもとに新聞を作成したり、ワークシート等にまとめたりした。

(5) 見学の様子



(松山の道標)



(沖泊)



(やぎものの里)



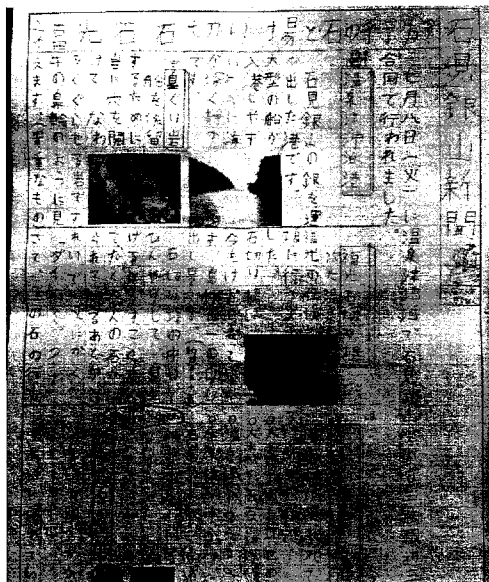
(温泉津の町並み)



(福光石採石場)

6 学習の成果と課題

- ・現地見学によって、温泉津地域のくらしや、なぜ温泉津地域も世界遺産なのかということについて知ることができた。
- ・銀山学習を各校の社会科や総合的な学習の時間につなげることができた。
- ・各校、各自で課題をもって見学に臨むことができたので、積極的に質問しながら学習することができた。
- ・三瓶周辺3校の児童の親睦を深めることができた。
- ・6年生は昨年度大久保間歩等の見学や世界遺産センターでの学習を行っているため、世界遺産「石見銀山遺跡とその文化的景観」について広く学習することができた。2か所の見学を交互に実施することでより深く学習できるという複式校のメリットを生かしていきたい



## 平成26年度石見銀山事業 石見銀山学習の概要

○ 実施学年、人数 第6学年 9名

○ 実施時期 平成26年10月

○ 学習のねらい

- ・遺跡や資料館の見学を通して、石見銀山の価値を知り、ふるさとへの愛着と誇りを持つ。
- ・自らの課題について体験を通して学んだことを生かし、まとめ、発信する。

○ 学習内容

### 6年生「知ろう！探ろう！石見銀山」(10時間)

【事前学習】

- ・パンフレットやDVDをもとに石見銀山の歴史や石見銀山遺跡の価値について知る。
- ・現地学習で調べる課題を見つける。

【現地学習】

「石見銀山世界遺産センターで調べよう」

- ・石見銀山についての疑問について質問したり、見学したりすることで課題を解決する。
- ・当時の世界経済をも動かしていたのが石見銀山の銀であることをつかむ。

「大久保間歩見学」

- ・江戸時代と明治期の採掘方法のちがいや、採掘方法の進化、佐渡金山とのちがいを学習する。

○ 実際の学習の様子

学習終了後の児童のまとめの新聞より(抜粋)

### ●石見銀山

石見銀山は、日本で14番目の世界遺産で、間歩の他に町並みや、山城跡などが世界遺産になっています。

石見銀山が世界遺産になったのは、3つの理由があります。

- ・石見銀山の銀が、世界の経済や文化の交流に大きな影きょうを与えたから。
- ・銀を生産していたときの坑道や工房のあとが遺跡としてよく残っているから。
- ・銀を運んだ街道や積み出した港も残り、さらに鉱山町や港町には、今でも人が住み続けているから。

この3つが石見銀山が世界遺産になった理由です。

### ●石見銀山の歴史

17世紀初頭の最盛期には、日本は世界産銀量の3分の1を占めましたが、石見銀山だけでも全世界の銀の1割を産出したと考えられています。

筑前博多の廻船問屋神谷寿禎が、仁摩町宅野の沖合を航行中に南方の山が輝いているのを見つけ、1526年、開発のために入山したのが仙ノ山だと言われています。

1533年に「灰吹法」という朝鮮半島から伝わった製錬技術が導入されると、石見銀山の産銀量は飛躍的に増加しました。灰吹法は、各地の鉱山に伝えられ、日本に金銀の大量生産時代をもたらせました。

#### ●大久保間歩

・大久保間歩は、水とかが降ってきました。間歩の中は暗くてライトで照らしてもあまり見えなかったです。江戸の人は、ライトがないので、らとうというものでどうくつを見ていたそうです。らとうは、さざえの中にもろうそくを入れて火をつけます。どうくつの中でけむりとかを出すものを使っていたから、病気になる人が多かったそうです。

・私たちは、大久保間歩へ行きました。間歩の中は、暗くて何も見えません。なので、かい中電灯を持って入りました。昔掘ったあとや、高いところを掘るための足かけの穴など、当時の様子がよく分かりました。どんどん進んでいくと、コウモリがバサバサ飛んでいました。寒くなると、たくさんのコウモリが冬眠しに来るそうです。当時は真っ暗な中、らとうを使って照らしていたそうです。私たちも、明かりを消して、らとうだけにしてみると、小さな明かりしかなく、本当に大変だなあと思いました。

#### ●町並み見学

町並み見学では、昔の家がたくさん見られました。びっくりしたことは、電柱がなく、電線は地下を通っているということです。自動販売機は、木でおおわれていました。パイプも木でおおわれていました。武士と商人の家のちがいは、武士の家にはへいがあるけど、商人の家にはへいがないということです。と中には、いろいろなお店がありました。食事をするところがたくさんありました。昔の町並みをまもるためにいろいろなことをしているのがわかりました。

#### ○ 学習の成果と課題 (◎成果 △課題)

◎路頭掘りから始まる採掘方法の変化、灰吹法による精錬、銀の輸送方法やルート、銀の世界での流通などの知識の習得ができた。

◎間歩見学等を通じた現地学習による体験的理解の促進、興味関心が高まった。

◎ふるさとのすばらしさの再認識、石見銀山の歴史的、文化的価値の認識と郷土への誇りと愛着が醸成された。

△世界遺産をより明確にする上では、銀山街道(城址、温泉津港など)の見学も必要であると思われるが、時間的にも費用の面からも実施が難しく残念である。





平成 26 年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第6学年12名（指導者2名）

2. 実施時期 平成26年 9月～12月

3. 学習のねらい

- ・ 石見銀山の歴史や現存している遺跡に興味をもち、意欲的に調べることができる。
- ・ 遺跡（間歩など）や世界遺産センターの見学等を通し、銀生産が盛んだった頃の石見銀山の生活の様子や石見銀山の価値を知り、郷土に対する愛着を深めることができる。
- ・ 自分の課題解決に必要な資料や情報をさがし、分かりやすくまとめることができる。

4. 学習内容

過程	主な学習活動
事前	石見銀山について知ろう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ DVDや図書館の本、パンフレット等から、石見銀山遺跡の歴史や価値について知る。</li> <li>・ 現地学習での課題を見つける。</li> </ul>
現地学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 石見銀山世界遺産センターで説明を聞き、課題を解決する。</li> <li>・ 大久保間歩の見学を通して、銀を採掘していた当時の仕事の様子や苦勞、工夫について理解を深める。</li> <li>・ 大森の町並み見学を通して、銀山で栄えた町並みの様子と、世界遺産である石見銀山の景観を守る努力をしている大森についての理解を深める。 (主な見学場所：下河原吹屋跡・大久保石見守墓所・五百羅漢・旧河島家・大森代官所跡)</li> </ul>
事後	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたり見学したりしてわかったことをまとめる。</li> <li>・ 発表会を開き、お互いの学びを交流し合う。</li> </ul>

5. 実際の学習の様子

①世界遺産センターで館内見学をする。

今まで資料を通して捉えていた石見銀山の価値を、詳しい説明を聞きながら展示物を見ることで、銀山全体の広さや歴史的価値を再確認し整理して理解することができた。



↑ 石見銀山遺跡の全体像の説明



↑ 御取納丁銀のレプリカ

## ②大久保間歩の見学

## ③大森・町並みの見学

実際に間歩の中を歩き、銀山採掘に携わっていた人々の苦労や工夫を実感した。

(下河原吹屋跡・大久保長安墓所・五百羅漢・旧河島家・代官所跡)



↑大久保間歩見学

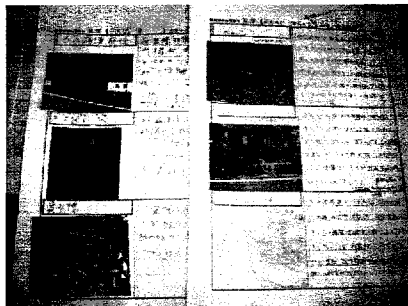


↑旧河島家見学

(現地学習後の児童の感想から)

- ・世界遺産センターでは、柵の内のことを最初に説明してもらいました。DVDや資料では想像できなかったけれど、説明してもらって、銀山がすごく大きなことがわかりました。
- ・私は本とかで結構調べていたけれど、行って初めて分かったことも多かったです。間歩は一日で30cmしか掘れず、900mも続いているから、昔の人の苦労はすごいと思います。
- ・昔の町並みに合わせるために、自動販売機を木で囲むように工夫してありました。
- ・大久保間歩に入ってびっくりしました。螺燈で照らしても全く見えなくて、当時の作業は相当大変だったことがわかりました。間歩が630カ所もあり驚きました。やっぱり大田市に世界遺産の石見銀山があるのは、誇りに思いました。

## ④銀山学習の報告書作りと発表会



← 報告書づく

↓ 発表会

← 児童の作成した  
報告書



## 6. 学習の成果と課題

- ・ 石見銀山の歴史や現存している遺跡に興味をもち、意欲的に調べることができた。
- ・ 遺跡（間歩など）や世界遺産センターの見学等を通し、銀生産が盛んだった頃の石見銀山の生活の様子や石見銀山の価値を知り、郷土に対する愛着を深めることができた。
- ・ 石見銀山学習を通して、総合的な学習の時間における探求的な学習を展開することができた。（課題の設定・情報収集・整理分析・まとめ表現）

## 平成26年度石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 5・6年生中心に学習しながら、3年生～6年生15名が参加

2. 実施時期 平成26年6月～平成27年1月

### 3. 学習のねらい

- 子どもガイド活動のガイドエリアやガイド対象者を新しいものに工夫することで、意欲的・主体的に課題を解決していく態度を育てることができる。
- 大森の町並みや石見銀山の魅力を再認識する活動を取り入れることで、郷土への誇りと愛着を育むことができる。
- 発見・収集した情報を処理しまとめる活動をしたり、わかりやすく伝える活動をしたりすることを通して、思考力・判断力・表現力を養うことができる。

### 4. 学習内容

#### (1) 「銀山子どもガイドプロジェクトⅢ」

今年度のガイド活動は、エリアを大森地区から選んで挑戦した。(昨年度は銀山地区選択)そして、高山小学校との集合学習の機会を生かし、ガイド対象を高山小学校3、4年生児童として、準備を進めていくことにした。ガイドエリアや対象に対応しながら、ふるさとの再発見や様々な人との関わり方を学んだ学習である。

#### (2) 「大森すてき、再発見」

世界遺産登録後、観光客が増え賑わいを増した大森であるが、子どもたちは“石見銀山遺跡愛護少年団活動”を通して、大森の町、大森の歴史を学び、史跡や文化財を愛護する気持ちを高め、美しい町づくりに参画している。そこで、大森の町の今昔を学び、石見銀山の魅力を再認識するとともに、その魅力を広く発信しながら、ふるさとへの誇りと愛着を育んだ学習である。

#### (3) 地域の方へ情報発信をしよう

地域の交流センターにおいて開催された学習発表会で、子どもガイド活動の様子や大森の町の魅力について、地域住民に情報発信した活動である。

### 5. 実際の学習の様子

#### (1) 「銀山子どもガイドプロジェクトⅢ」

##### ① 「ガイドのプロから学ぼう」

大森地区は、日頃から子どもたちの生活している場である。しかし、その歴史については知らなかったり、着目点に気づけなかったりする。そこで、地元ガイドの会の方に案内していただき、それから子どもガイドらしさを加えていった。



##### ② 「大森地区オリジナルガイドコースを作ろう」

ガイド対象者のことを考え、わかりやすいクイズ形式にしたり、大人のガイドとは異なる子ども目線での場所や内容を盛り込んだ、コース設定することができた。



##### ③ 「子どもガイド活動のリハーサルをしよう」

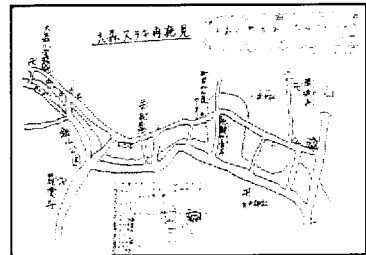
フレックス参観日の機会に、保護者や地域の方にガイドの様子を見て



アドバイスをもらい、言葉などの修正を行った。また、現地でのリハーサルも行い、説明場所や見てもらうものの確認等をした。

④「高山小学校の人にガイドをしよう」

高山小学校の3、4年生を対象に、3グループに分かれ、それぞれがガイド活動を行った。



(2) 大森すてき 再発見

①「昔と今のくらしの違い」

子どもたちは、郷土資料館の仲野館長さんから、大森の町の昔のくらしと今のくらしについて“ゴミ”を視点に比較をし、現在の生活で取り入れることができることが気づいたり、大森の町並みが保存されていたりするものの大切さを再確認することができた。



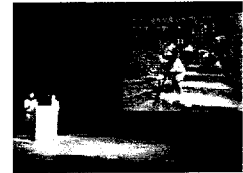
②「愛されつづける大森に」

観光客の方に、アンケートを実施することで、自分たちの気づかなかった大森の魅力について気づくことができた。また、課題も見つけ、その解決方法について考察することができた。



③「大森小学校の活動を紹介しよう」

福岡県大牟田市で行われた“ユネスコスクール子どもサミット”で大森小学校の銀山学習や石見銀山遺跡愛護少年団活動に関わる内容を発表した。また、郷土資料館の仲野館長さんに、銀山の職人が九州の炭坑で石炭を掘る高い技術を発揮するなどの、大森と大牟田の関連などの説明していただいた。



(3) 「地域の方へ発信しよう」

11月29日、地域の交流センターを会場に、ガイド活動の様子や大森の町並み保存、さらに大森をよりよくするための方策などを地域住民に発信することができた。



【感想】 観光客の方にアンケートをしたとき、案内が分かりづらいという意見があったので、ぼくは工夫した案内をしたらいいと思います。工夫というのは、景色をみてじゃまにならないというものです。そのために材料として竹を利用して、看板をつくるといいと思います。竹を利用すれば町の景色がかわらないし、竹を切ることは大森の森にもやさしいからです。

## 6. 学習の成果と課題

- 子どもの視点に立ってガイド活動を行ったり、大森の町並みを「昔と今で」「他地域との関わりで」学習したりしたことで、子どもたちは改めて石見銀山・大森の価値について学び、郷土のすばらしさを再認識し、郷土を愛する気持ちを強くすることができた。
- 子どもたちの活動を地域で見守り支援していただくような雰囲気がたくさん見られるなか、子どもたちには、未来へと守り伝えていかねばならない使命感や意識を高め、主体的・意欲的に実践活動に取り組んでいけるよう支援していきたいと考えている。

大田市立高山小学校

## 平成26年度 石見銀山基金事業 石見銀山学習の概要

### ○実施学年、人数

第5・6学年 17名

### ○実施時期

平成26年 10月～11月

### ○学習のねらい

- ・ 遺跡や世界遺産センターの見学を通して、石見銀山の価値を知り、ふるさとへの愛着と誇りを持つ。
- ・ 課題解決力を高めるとともに、自分なりの表現方法でまとめ発表することができる。

### ○学習内容

#### <事前学習>

- ・ パンフレットやDVDを使い、石見銀山の歴史や価値について調べ、課題を見つける。

#### <現地学習①>

- ・ 石見銀山世界遺産センターを訪れ、説明を聞いたり見学したりして課題を解決する。
- ・ 石見銀山世界遺産センターにおいて、「灰吹き法」の体験活動を行なう。

#### <現地学習②>

- ・ 大久保間歩を見学し、説明を聞く。

#### <事後学習>

- ・ 見学や体験学習で学んだことを基に、自分の課題について、資料やインターネット等を使って、さらに詳しく調べ、自分なりの方法でまとめる。
- ・ まとめたことを学習発表会で地域の方や保護者に発表する。

### ○実際の学習の様子

#### <現地学習①>



石見銀山世界遺産センターで、石見銀山課の青木さんと石見銀山ガイドの会の松浦さんから、石見銀山について説明を聞き、見学をする。

自分の課題を基に、ワークシートに学習したことをまとめるたり、新しい自分の課題を見つけたりする。

石見銀山課の青木さんによる灰吹き法の実演を見学する。



【児童感想】

世界遺産センターの見学をして、歴史のことが色々と分かりました。特に心に残ったのが間歩の中のイメージ図のような模型で、昔の人は銀の堀口から、どんどんいくつもの穴を掘っていて、すごい知恵だなと思いました。灰吹き法で銀を取り出す作業がすごかったです。

<現地学習②>

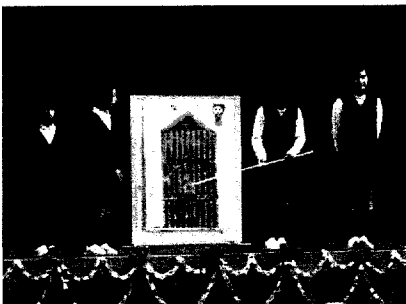


大久保間歩の見学をし、江戸時代の掘り跡と明治時代の掘り跡の違いや、間歩の中の様子について学習する。

【児童感想】

大久保間歩では、江戸時代の掘り跡と明治時代の掘り跡がありました。江戸時代の掘り跡はとてもきれいで平らになっていました。昔使っていた「らとう」という道具はとても暗くておどろきました。

<事後学習>



現地学習の後、自分の課題について、大久保間歩について、石見銀山を掘る時の道具、石見銀山争奪戦、昔の貨幣について劇にしたり絵や図を書いたりして学習発表会で地域の方や保護者さんに学習の成果をはっぴょうする。

【児童感想】

ぼくは、鉱山を掘るときの道具について一人で調べました。世界遺産センターを見学したときに、鉱山の中の換気をするのに、家にある唐箕を使っていることが分かりました。それで、道具について調べようと思いました。学習発表会では、色々な道具の絵を書いて発表しました。



ぼく達は、銀山争奪戦について調べ、劇の台本を作って発表しました。大名達が石見銀山の支配をめぐり激しい争奪戦を繰り返したことが分かりました。

○学習の成果と課題

- ・身近にある世界遺産について、その歴史や価値について認識することができ、ふるさとを愛する気持ちを深めることができた。
- ・体験学習を通して、課題解決学習能力を高めることができた。
- ・さらに、地域との結びつきを考えた学習を深めることが今後の課題である。

「ふるさとの良さを見つめよう」

1 実施学年、人数 第6学年 19名

2 実施時期 平成26年7月～平成27年2月

3 学習のねらい

- ・温泉津町と大森町での現地学習を通して、温泉津町との関わりを学ぶ。
- ・世界遺産学習を通して、色々な立場の人が折り合いながら世界遺産を守っていることを知る。
- ・温泉津町民への取材活動を通して、町の現状を知り、今後の温泉津町についてのあり方を考え、ふるさとに対する愛着を育てる。

4 学習内容

	主な学習活動
事前学習	<ul style="list-style-type: none"><li>○石見銀山と温泉津の関わりについて知る<ul style="list-style-type: none"><li>・パンフレットから石見銀山について理解する。</li><li>・温泉津や大森の古地図を見て当時の隆盛を学ぶ。</li><li>・福光や温泉津の石工が石見銀山で活躍していたことを知る。</li></ul></li><li>○世界遺産の意義を知り、人口減少している沖泊の今後のあり方について考える。(筑波大学 大学院生との授業実施)<ul style="list-style-type: none"><li>・世界にある世界遺産を知り、人口増加している国がある一方で人口減少している日本では世界遺産が毎年のように増えている事を知る。</li><li>・大田市も人口減少している事を知り、そのような中で限界地域となりそうな沖泊の今後のあり方について考え、発表する。</li></ul></li><li>○現地学習へ向けての課題を設定する<ul style="list-style-type: none"><li>・自分が調べてみたいことをノートにまとめる。</li></ul></li></ul>
現地学習	<ul style="list-style-type: none"><li>○温泉津町の町並み周辺見学 <u>西念寺、愛宕山、龍御前神社、西楽寺、恵光寺</u><ul style="list-style-type: none"><li>・温泉津の町には多くの福光石が使われていることを学ぶ。</li><li>・温泉津が世界遺産になっている理由や、街並みの発展の様子を見て学ぶ。</li></ul></li><li>○大森町の町並みと銀山町の見学 (石見銀山資料館学芸員藤原さんとの学習) <u>石見銀山資料館、旧河島家、五百羅漢、龍源寺間歩</u><ul style="list-style-type: none"><li>・温泉津町と石見銀山との関わりについて学芸員に教えてもらう。</li><li>・町並みを見学して、温泉津の街並みとの違いを知り、武士と商人の暮らしの違いを知る。</li><li>・間歩の見学をして、当時の銀生産の様子を知る。</li></ul></li></ul>

	<p>○温泉津町取材活動（温泉津町民、温泉津の観光客対象）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・取材活動から、住民や観光客の温泉津町に対する思いを知り、まとめの学習に生かす。</li> </ul>
<b>事後学習</b>	<p>○世界遺産である温泉津町を紹介しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学んだことを学習発表会や仁摩小との合同学習やホットスプリングフェスティバル（温泉津文化祭）で発表し、地域についての提案をし積極的な交流をする。</li> <li>・現地学習等で分かったことを文章やグラフにまとめて、冊子やパンフレットを作成する。</li> <li>・完成したパンフレットや冊子を通して互いに見合い、意見交換をする。</li> <li>・町内の町並み交流センター（4館）と公民館に展示をして、自分達の考えを提案し、町民から感想用紙にて意見をもらう。</li> </ul>

## 5 実際の学習の様子



事前学習 院生との世界遺産学習



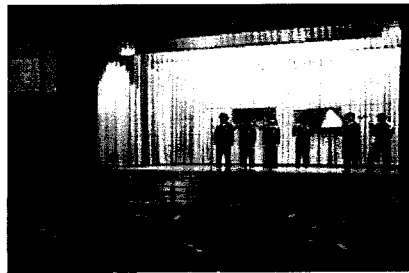
現地学習 温泉津町にて



現地学習 大森 藤原字芸員と



現地学習 温泉津町にて取材活動



事後学習 仁摩小との合同学習にて発表



事後学習 ホットスプリングフェスティバルにて発表と冊子展示

## 6 学習の成果と課題


- 石見銀山や温泉津町が世界遺産に登録された意味が理解できた。
- 温泉津町や石見銀山を守っていききたいと思う児童が増えた。
- 筑波大学院生との世界遺産についてのワークショップを通して、地域の人と協力して町を守っていかねばならないことやその方法は多様であり、話し合いをすることが必要であると理解できた。
- 温泉津町民や観光客へのインタビューを通して、様々な考えの人がいることを知り、これからの温泉津町を考えていくよい機会になった。
- △児童の考えや提案を温泉津町民に見てもらおうよう巡回展示を行ったが、感想はあったものの少数で、町民の地域に対する意識改革についても考えていく必要がある。
- △現地学習が一度しか確保されていないことと基金事業対象学年が固定されていることは、より柔軟に授業を展開することを難しくしていると感じる。



## 平成26年度 石見銀山学習の概要

1. 実施学年・人数 第4学年・第5学年・第6学年 105名
2. 実施時期 平成26年6月～平成27年2月
3. 学習のねらい
  - ・仁摩を知り、仁摩に愛着を感じ、誇りに思う子どもを育てる。
  - ・石見銀山遺跡や仁摩と銀山の関わりについての学習をとおして、地域の文化遺産について理解を深め、学習したことや感じたことを発信しようとする態度を育てる。

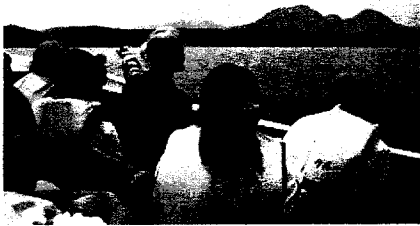
### 4. 学習内容

学年	4 年	5 年	6 年
単元名	先人の足あと ～井戸平左衛門～	発見！石見銀山	わたしたちのまち 仁摩の世界遺産
ねらい	石碑や代官所跡の見学を通して、井戸平左衛門の功績を知ると共に、地域の人たちの井戸平左衛門への感謝の気持ちを感じとり、ふるさと仁摩のよさを発見し、愛着をもって生活しようとする。	世界遺産について知り、自分のテーマを決め、調べ学習や現地学習をする。 石見銀山のすばらしさや、守り続けてきた人々の思いや願いに気づき、世界遺産を大切にする心を育む。	仁摩町と銀山の関わりについて興味をもち、現地学習を通して、郷土の貴重な歴史遺産や文化についての理解を深め、ふるさとへの誇りと郷土を愛する気持ち、大切に守っていこうとする心情を育む。 現地を歩いて感じたことや調べたこと、教わったことをまとめ、自分達にできることを考え、地域へ発信する。
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・井戸平左衛門について調べる</li> <li>・石碑の見学 (仁万・馬路・宅野 大国・大森代官所跡)</li> <li>・学習のまとめ(新聞)</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界遺産とは</li> <li>・調べたいテーマをつくる</li> <li>・現地見学 (龍源寺間歩・世界遺産センター)</li> <li>・調べ学習</li> <li>・学習のまとめ(発表会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石見銀山について知っていること、調べたいこと</li> <li>・なぜ世界遺産になったのか</li> <li>・光る山を探せ(乗船活動)</li> <li>・調べたいテーマをつくる</li> <li>・調べ学習</li> <li>・めざせ仙の山 (鞆ヶ浦港・鞆ヶ浦街道・永久鉾山跡・龍源寺間歩・仙の山)</li> <li>・大森の竹・竹杖づくり</li> <li>・学習のまとめ (新聞、学習発表会等)</li> </ul>

## 5. 実際の学習の様子

【第6学年の実践】

### ■光る山を探せ



乗船活動を通して神屋寿禎が仁摩沖から仙の山が輝くのを見たときの気持ちや、当時の様子を想像した。

### ■テーマをつくる



銀鉱石を運ぶ方法、道、人、仕事など、各自テーマを決めた。鉱石を持ち、重さを実感した。

### ■めざせ仙の山①



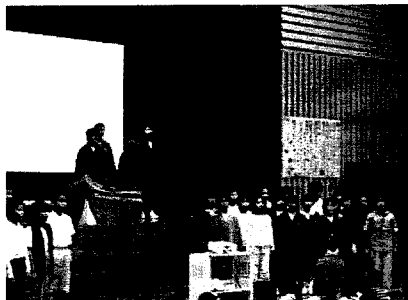
鞆ヶ浦港から永久鉱山跡までを歩きながら、自分のテーマについて調べたり、新たな発見をしたりした。

### ■めざせ仙の山②



永久鉱山跡から仙の山までを歩く。街道、間歩、昔の生活、銀山争奪に関わった人物、城跡などについて、ガイドの方の話を聞いたり、気づいたことや見つけたことをメモしたりした。

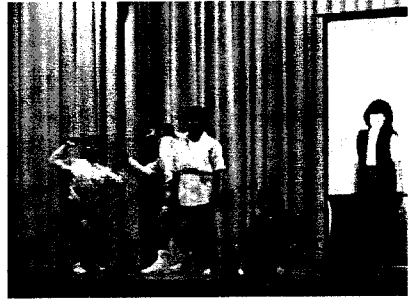
### ■学習発表会



### ■世界遺産学習サミット



### ■温泉津小との合同学習会



『仁摩から始まる物語～世界遺産☆石見銀山～』  
調べ学習や現地学習を通して学んだことをまとめ、地域などへ発信。

## 6. 学習の成果と課題

- ・地域の方から話を聞く活動や調べ学習を通して、地域に昔から大切にされている物や、それを支えてきた人々の思いに気づくことができ、自分達の住んでいる仁摩にさらに誇りと愛着をもつことができた。
- ・仁摩のすばらしさを全校児童や保護者、地域へ発信することができた。
- ・今年度は第4学年から石見銀山学習を行った。学年間のつながりや内容、時間数等の視点から活動を見直し、地域と連携して実践を積み重ねていきたい。